

原市場聖書教会

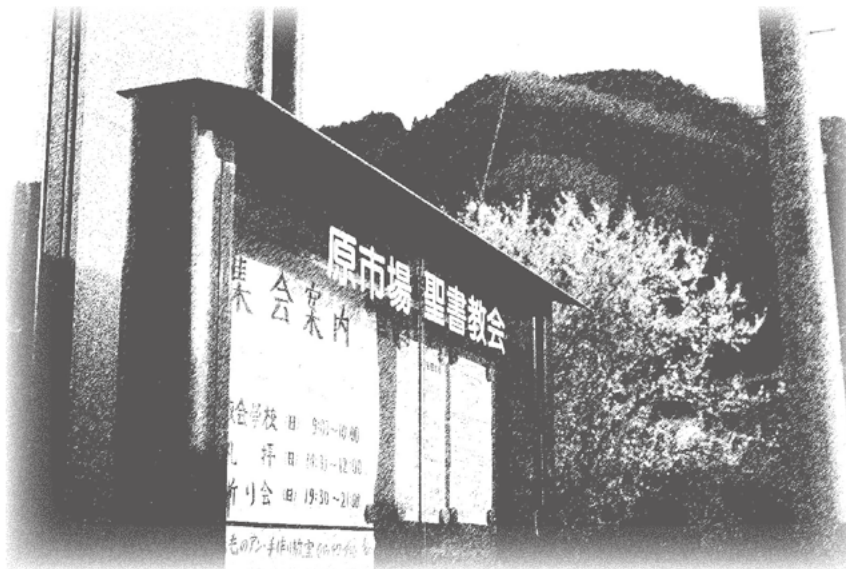
NO. 787

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 5. 3

主日礼拝

2020年 5月 2日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：勝山幸子姉
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：司会者

賛	美	「イエスが愛したように」	—	同
祈	り		司 会	者
今月の賛美		「父の神の真実」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌442番「つみのふかみに」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			司 会	者
賛	美	聖歌404番「イエスはなれをよびたもう」	—	同
聖書朗読		ローマ7章14節~25節	司 会	者
説	教	「善の実践を妨げるものとは？」	若村和仁師	
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌464番「罪咎をゆるされ神の子とせられ」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若村和仁師	
後	奏		奏 楽 者	
報	告		司 会	者

●礼拝後の昼食会は
コロナ終息までお休みとします。



「善の実践を妨げるものとは？」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

ローマ7章14節～25節

14, 私たちは、律法が霊的なものであることを知っています。しかし、私は肉的な者であり、売り渡されて罪の下にある者です。

15, 私には、自分のしていることが分かりません。自分がしたいと願うことはせずに、むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。

16, 自分のしたくないことを行っているなら、私は律法に同意し、それを良いものと認めていることになります。

17, ですから、今それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪なのです。

18, 私は、自分のうちに、すなわち、自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。私には良いことをしたいという願いがいつもあるのに、実行できないからです。

19, 私は、したいと願う善を行わないで、したくない悪を行っています。

20, 私が自分でしたくないことをしているなら、それを行っているのは、もはや私ではなく、私のうちに住んでいる罪です。

21, そういうわけで、善を行いたいと願っている、その私に悪が存在するという原理を、私は見出します。

22, 私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいますが、

23, 私のからだには異なる律法があって、それが私の心の律法に対して戦いを挑み、私を、からだにある罪の律法のうちにとりこにしていることが分かるのです。

24, 私は本当にみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。

25, 私たちの主イエス・キリストを通して、神に感謝します。こうして、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。

今月の賛美

1 父の神の^{しんじつ}真実は

とこしえまで変わらず

^{いづく}慈しみと^{あわ}憐れみは

つきることありません

2 春も秋も^{なつふゆ}夏冬も

^{そら}空の星も太陽も

声を合わせ語り合う

父の愛の備えを

(くりかえし)

素晴らしい主 その^{しんじつ}真実は

朝ごとに新しく

深い恵み知らされて

讚美します主の^{みな}御名

3 罪を^{ゆる}赦し平安を

主は与えて^{はげ}励まし

力に満ち祝福に

あふれさせてくださる

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

1. 善と悪とはそもそも何なのか？

これは互いに反対方向にあるものです。まず悪を広辞苑で調べますと

・悪=よくないこと、天才・病気などのような自然的悪 とありました。

また、Google 辞書によりますと、正しくない、よくない、不道徳。また法律に反すること。とありました。その反対語は善。とありました。

・善=よいこと。道理にかなったこと。また、そのようなおこない。その反対は悪
というように三省堂のウェブ辞書にはありました。

広辞苑では、正しいこと、道徳にかなったこと、よいこと。すぐれたこと、このましいこと、たくみなこと。とありました。

では、人間はなぜ、この善（神様の喜ばれる事）ができずに、神様が悲しまれる悪（罪）を犯してしまうのでしょうか？
今日のパウロの語る葛藤と経験からその打ち勝つ方法を学ぶことができればと思います。

2. 善の実践と戦っていたパウロ

パウロはどうすれば神様の喜ばれる善を行えるのか？悩んでいたのです。また、善とは何か？神様の喜ばれる事とは何か？と追及していたのです。しかし、イエス様と出会うまでは、律法を学び律法の中に生き、善（神様の喜ばれる事）を行っていると自覚していたが実は全く善を行っている者ではなかったことに気づかされたのです。そして、自分自身がなぜ善を実践できないのか？と言うことを今日の個所で語っています。その原因をパウロは自分のうちに住んでいる罪（欲望）だと語ります。その罪（欲望）のほうの方が自分の力よりも強く、善を行いたいと思っても、罪の方向へと動いてしまう。と言うことを語っています。

パウロは、本来神様の喜ばれる正しい方向へ向かっていると思っていたにもかかわらず、実は、全く反対方向に向かっていたことに気づいた時は相当苦しかったと思います。しかし、その苦しさをしっかり味わい、知ってこそ、正しい道へと向かうきっかけとなったのです。

私たちも与えられた苦しみは、実は正しい道へと修正させられる神様からの大きなプレゼントである可能性があるのです。そのように受け取り信じる事ができれば大きな成長があるのです。

3. 自分の力では悪に打ち勝てないことに気づいたパウロ

今日の個所から、パウロはどうしても自分が憎んでいることを行ってしまう自分に打ち勝てずにもがいていた様子が見えます。

憎むとは、心が増す。心が増えると書きます。心の思いが重なったことを人は行ってしまうのです。また、自分の心が増すことは、良いことに思えるのですが憎しみにもなってしまうのです。心が増える時のエネルギーは大きな力です。しかし、そのエネルギーの行先を、悪（欲望）にもっていくのか、善（神様）へもっていくのかで大きな違いになります。では本題に戻りますが、この自分が憎んでいることを行ってしまう原因は、パウロは私のうちに住んでいる罪（欲望）だということです。では、今日の個所によく出てくる言葉、「罪」と「善」を考えたいと思います。そもそも「罪」と「善」とはどういうところから生まれるのかを知らなければ理解は深まりません。そこで、パウロは「肉」のうちに「善」がないと説明しています。では、「肉」とは何なのでしょう？「肉」のおこないについてこう書かれています、ガラテヤ 5 章 19 節～ 21 節に「すなわち、みだらな行い、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、遊興」と書かれています。たしかに、これらは「善」とは程遠いものです。では、続けて、「御霊の実」についてガラテヤ書 5 章 22 節～ 23 節に「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」と書かれています。では悪の反対である「善」に当てはまることは、「御霊の実」と当てはまります。これらは素晴らしい行為だということは誰もがわかります。しかし、これをどうすれば行えるのか？それは、私たちの「肉」では実践できないのです。「御霊」でなければできないと書かれています。パウロがどのようにしてこの問題を乗り越えたのか？それは、私たちの肉=欲望（罪）をイエスキリストと共に十字架につけたと「ガラテヤ書 5 章 24 節」でパウロは語っています。私たち人間は誰もがこのような欲（肉）との闘いがあるのです。肉とは何かについては、19 節にあります。肉とは「淫らな行い、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、遊興、」です。それを隠さず正しく認める事そして、イエス様にゆだねる事が解決の道へと向かうのです。

●まとめ

「善の実践を妨げるものは、私たちの欲望」

善を実践するには？

1、求める事

2、自分の弱さを正しく知る事

3、イエス様の愛を素直に受け取る事

に尽きるのです。パウロはこれらを通して、律法に縛られ苦しんでいた人生から天の御国への約束をいただく希望に満ちた人生へと変えられたのです。私たちも、神様に大胆に求め、弱さを知り、イエス様の愛を受け取り続ける者でありたいです。

原市場聖書教会牧師 若村和仁

報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

☆引き続き5月もコロナウィルス対策として、平日の集会、家庭集会はお休みとし日曜日の礼拝はおこないますが、賛美は一節のみ、聖餐式はお休みいたします。その他の各集会は5月末までお休みとしますが、状況によって さらに延長する可能性があります。またその都度ご連絡いたします。

体調不良の方は、礼拝出席を無理せずラインにて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。

★礼拝中の席は、お隣とひと席空け、ゆとりをもってお座りください。

5月の誕生日

10日 若村めぐみ姉 14日 本多こずえ姉

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・5月4日、5月7,8日 (月木金) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所：高麗聖書教会)
- ・5月7日 (木) hi-b.a. 所沢オンライン集会 (場所：オンラインにて)
- ・5月8日 (金) hi-b.a. 川越オンライン集会 (場所：オンラインにて)

本日午後の予定

☆礼拝後、昼食会はコロナ問題が落ち着くまでお休みいたします。

次週 (5月10日<日>)

司 会：本多崇兄

聖 書：□-マ8章1節~11節

説 教：「御霊の思いはいのちと平安」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：「God bless you」 今月の賛美「父の神の真実は」

聖歌 396、聖歌410、聖歌450、聖歌383

受 付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：司会者

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
4月26日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	4人			4人
	礼 拝	8人	12人	3人	23人
		(礼拝はオンライン参加者10名を含む)			
	夕 礼 拝	お休みでした。			
4月29日(水)	祈 り 会	お休みでした。			

集会案内

5月6日(水)	祈 り 会	お休みいたします
5月10日(日)	ハレルヤキッズ	9:30 ~ 10:15
	礼 拝	10:30 ~ 12:00

頌 栄

聖歌383

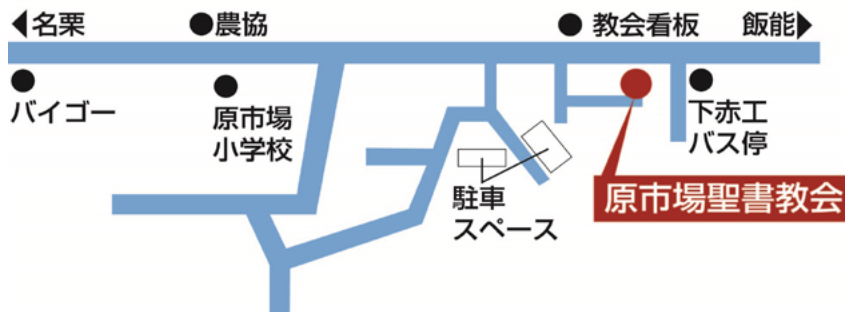
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-980-6442

牧師:若村和仁